

## 子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

～いろんな森に触れて自然の姿を学び、木の利用を体験しよう～  
巨大木造建築と森の結びつきをめぐる

京都地区・地区委員水口征親、指導者グループ代表篠部幸雄

### 【事業のポイント】

- 巨大木造建築である南禅寺の三門などを見学
- 1回目とは別ルートで安祥寺山(活動拠点)までハイキング
- 2度目のコースでは新しい発見を!
- 安祥寺山(活動拠点)で森を育てる作業を体験  
～木を育てる枝打ち作業を体験～
- 少し長めのルートを通して、南禅寺奥の院の滝をめぐる



何を見つけたのかな？

### 1. 事業の趣旨

#### (1) 趣旨

小学校の学習指導要領における自然体験活動を通じた教育課程の趣旨を確認しつつ、何より、子供たちが楽しく、安全に、そして、主体的に目標達成に向かって活動できるよう企画され、地域を担う人材の育成につながる。全国的かつ継続的な自然体験活動推進事業を実施することにより、子供たちの健全な心身を育む

### 2. 実施概要

#### (1) 構成団体(運営体制)

FIJ関西支部ー京都地区指導者グループ

#### (2) 開催実績

月日	場所	参加者数	日帰り・宿泊	経費	主な活動
10月18日	東山トレイル ～安祥寺山	8名	日帰り		自然観察、ハイキング、間伐・玉切り作業
11月1日	南禅寺～安祥寺山～京都一周トレイル～南禅寺奥の院	18名	日帰り		木造建築見学、自然観察、ハイキング、間伐・玉切り作業
/					
/					
/					

※必要に応じて枠を広げたり、行を増やしたりするなどして記載してください。

### (3) 具体的な取組の概要



枝打ちの意味を説明



ヒノキの枝打ち・  
はしごが楽しい！



高枝ノコギリも使って

## 3. 成果と課題

### (1) 事業の成果と課題

テーマである「木の利用を体験しよう」に沿った活動として、巨大木造建築である南禅寺の三門などを見学しました。世界遺産でもあり、再建後400年が経っても木が使われ続けている姿を間近に見て感じるところはあったと思います。

活動拠点では、木を育てる技術である枝打ちの意味を説明し、実際に1本はしごに登って枝打ち作業を体験し、高枝ノコギリも使いました。専門的な道具を使った貴重な経験になったでしょう。子どもたちは、興味がわいて何度もはしごを登っていました。

帰路には、滝のそばを歩き、森の木々とは違った自然の姿を楽しみました。

今回は参加者も多くなりましたので、子供たちの安全確保に気を付けましたが、新型コロナウイルス感染防止対策だけでなく、作業体験や歩行時の安全にも気を付けることが引き続きの課題です。



休憩タイムには、ウ  
ラジログライダーを楽  
しました！  
こんな遊びならOK  
です！